

夏の長期貸出を利用してたくさん読もう！  
7/7(水)～8/31(火) 一人10冊まで

『世界の教養大全：頭のいい人のセンスが身につく』  
ロイド&ミッチンソン 著 大浦千鶴子 訳 049/L



世間一般の常識だと思っていたことが実は間違いだった？！ヘビのしっぽはどこからどこまで？世界ではじめて飛行機で飛んだのは誰？水は何度で凍る？地球上に、どの国にも属していない場所がある？生物や科学、文化、地理などの幅広い教養と意外な真実を知ることができる。

『希望の一滴：中村哲、アフガン最期の言葉』  
中村哲 著 614.3271/N



2019年12月アフガニスタンで銃撃され命を落とした中村哲医師。診療所よりも水と食料が必要だと、1,600本の井戸を掘り、現地に住む人々の命を支える用水路を建設した。干ばつと戦乱で荒廃したアフガンの復興支援に力を尽くした中村医師の活動の記録と信念が綴られている。

『むかしむかしあるところに、哲学者がやってきた。』  
小川仁志 著 104/O



難しい哲学を、昔話と組み合わせでわかりやすく学べる入門書。鬼退治に行くことが運命という桃太郎にサトルが「実存主義」を唱えたり、おむすびころんのねずみたちにDJ風のアドラーが「課題の分離」を教えたりする。読めば、きっと誰でも哲学がわかるようになるはず。

『京都三十三間堂通し矢列伝：弓道の心と歴史を紐解く』  
高柳憲昭 著 789.5/T



「通し矢」は、京都三十三間堂で行われた江戸時代の伝統的行事である。この伝統を受け継ぐ競射会が、毎年1月中旬の日曜日に開催され、その年の新成人などが競射する。三十三間堂の西廊下には今も矢傷跡が残るが、その歴史を知る人は少ない。「通し矢」に挑んだ名手たちの逸話は現代の弓道の心に通じる。

『全国むかし町めぐり』  
291.093/Z



歴史ロマンを感じる城下町、日本の原風景が広がる山里など情緒あふれる街並みが、今も全国各地に残っている。人気の名所からあまり知られていないところまで、全国65か所の街を紹介文や写真とともに掲載。見ていだけで旅の気分が味わえる一冊。

『英文学教授が教えたがる名作の英語』  
阿部公彦 著 837.5/A



ヘミングウェイの『老人と海』、スウィフトの『ガリヴァー旅行記』、村上春樹の『シェエラザード』（『女のいない男たち』より）などの作品から読みどころを抜粋。原文に訳文を付けて、語彙や文法の基礎的な解説と深く読むための説明がされている。「本物の英語」で名作を読んでみよう。

『レジの行列が早く進むのは、どっち！？：はじめての統計学』  
サトウマイ 著 417/S



身近な例を用いて、知っておくと役に立つ統計学を解説。じゃんけん必勝法や、どのレジが一番早く進むのか？などを統計学的な観点からひも解いていく。また、お金が貯まらない理由（プロスペクト理論）や傘を忘れた日に限って雨が降る（意思決定バイアス）などもよくわかる。

『スモールワールズ』  
一穂ミチ 著 913.6/Ichi



家族、青春、ミステリー……それぞれがかすかに繋がる6つの物語からなる短編集。それぞれの物語に、心の奥にあるほの暗い気持ちや、人の温かさが描かれている。「秘密」を抱えた家族の真相を知ったとき、ゾワっとした感覚になる。全国の書店員イチ押しの注目作。



# 今月の新着から



## ■0 総記

『本は3冊同時に読みなさい』

佐藤優 著 019.9/S

## ■1 哲学

『「バカ」の研究』

ジャン＝フランソワ・マルミオン 著 田中裕子 訳 140.4/M

## ■2 歴史

『アンオーソドックス』

デボラ・フェルドマン 著 中谷友紀子 訳 289.3/F

## ■3 社会科学

『先生、お金持ちになるにはどうしたらいいですか？』

：15歳から学ぶお金の教養』 奥野一成 著 330/O

## ■4 自然科学

『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』

井上祐紀 著 498.39/I

## ■5 技術

『ごみ清掃芸人は見た！：リアルでゆかいなごみ事典』

マシンガンズ 滝沢秀一 著 518.52/T

## ■6 産業

『ウマの博物図鑑』

デビー・バズビー/カトリン・ラトランド 著 小林朋則 訳 645.2/B

## ■7 芸術

『眠れなくなるほど面白い：図解 体幹の話』

木場克己 著 781.4/K

## ■9 文学

『新 謎解きはディナーのあとで』

東川篤哉 著 913.6/Higa/4

『元彼の遺言状』

新川帆立 著 913.6/Shin

## ■絵本

『しばわんこの和のおもてなし』

川浦良枝 絵と文 P91/K

## ■文庫・新書

『ネメシスI』

今村昌弘 著 913.6/ネ/1

『満月珈琲店の星詠み』

望月麻衣 著 913.6/モ/1

『千年図書館』

北山猛邦 著 913.6/キ



## ～雨特集 第2弾～

『あいにくの雨で』 麻耶雄嵩 著 913.6/マ

『竜の雨降る探偵社』 三木笙子 著 913.6/ミ

『龍神の雨』 道尾秀介 著 913.6/ミ

『静かな雨』 宮下奈都 著 913.6/ミ

『雨あがる：映画化作品集』 山本周五郎 著 913.6/ヤ

『雨・赤毛：モーム短篇集I』 サマセット・モーム 著 中野好夫 訳 933.7/モ

気象庁によると、今年の梅雨明けは、  
7月19日頃だそうです。  
「雨特集」の特別展示に間に合わず、  
今回入ってきた本を紹介します。



## 図書館からのお知らせ

★貸出冊数が10冊に！！：7月7日(水)～8月31日(火)まで

☆特別展示「ドラマ・映画化された本特集」：6月23日(水)～  
あなたは読んでから見ますか？見てから読みますか？

★雑誌コーナーがリニューアル：『ジュニアエラ』『SCREEN』『MUSICA』  
『BRUTUS』『Number』を6月から購読しています。

